

6-3 肝炎〔かんえん〕

胆石症〔たんせきしょう〕・胆嚢炎〔たんのうえん〕  
膵炎〔すいえん〕

- ◇肝炎—急性と慢性があり、タイプはA型、B型、C型等がある。慢性肝炎の一部が肝硬変へ移行し、さらに一部が肝がんを発症させることがある。
- ◇胆石症・胆嚢炎—胆石症は無症状で腹部超音波検査でたまたま見つかることが多いが、胆嚢炎の発症要因となり得るので、胆石を摘出することが勧められる。胆嚢炎は腹膜炎や敗血症を引き起こし致命的になることもあるので、早期発見・治療が大切。
- ◇膵炎—飲酒、膵結石、高脂血症、外傷が原因で起こる。

主な症状	<p><b>急性肝炎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 発熱、倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜に黄疸が現れることもある。劇症肝炎では、昏睡、出血で致命的な状態に陥ることもある。</li> </ul> <p><b>慢性肝炎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無症状のことが多く、たまたま血液検査で発見されることも多い。</li> </ul> <p><b>胆石症</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無症状が多いが、右上腹部の痛みが持続的または間欠的にある。胆嚢炎を併発すると腹痛、発熱、黄疸が表れる。嘔吐を伴うこともある。</li> </ul> <p><b>膵炎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上腹部あるいは背部の激痛を訴えることもあれば、無症状のこともある重症の膵炎ではショック状態になることもある。</li> </ul>
------	--

生活上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記の症状があれば早期受診をする。</li> <li>● B型感染者の嘔吐物や排泄物の処置には、必ず手袋を使用する。</li> <li>● 胆石の発作はてんぷら、中華料理など脂肪分の多い食事を食べた数時間後に起こりやすい。発作時は急速に症状が悪化し、意識障害やショック状態（血液の低下、呼吸・脈が速くなる）となる場合があるので、早期受診が重要である。</li> </ul>
---------	---

ケアマネジメントのポイント	<p><b>肝炎</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● B・C型感染症の血液汚染物の処置には、必ず手袋を使用する。</li> <li>● 家族やサービス提供者が針刺し事故などで感染した可能性がある場合は、48時間以内の免疫グロブリン注射とワクチン接種を受ける必要があるため、早急に受診する。</li> </ul> <p>&lt;原因&gt; A型は、感染者の便で汚染された水や魚介類の摂取により感染する。 B型は、血液および体液で感染する。 C型は、血液で感染する。</p> <p><b>胆石</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 暴飲暴食を避け、規則正しい食生活を送る。</li> <li>● 脂肪分を控え、食物繊維を十分に摂る。過労や精神的ストレスを避け、適度な運動を続ける。</li> </ul>
---------------	---

代表的な薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 抗C型肝炎ウイルス薬（マヴィレット、ハーボニーなど）</li> <li>● 抗B型肝炎ウイルス薬（バラクルード、ベムリディなど）</li> <li>● 肝機能改善薬（ウルソなど）</li> <li>● 催胆薬（ウルソなど）</li> <li>● 排胆薬（コスパノンなど）</li> <li>● 蛋白分解酵素阻害薬（エフオーワイ、フオイパンなど）</li> </ul>
-------	--